

コミュニティ・スクールだより

～ 目指す子ども像『自信をもち自分の力を発揮する子』～

【学びの庭】 岳洋学舎みんなで元気大作戦

まな にわ がくようがくしゃ げんきだいさくせん
 ひかり くらやみ そとあそ すこ
 スローガン「光・暗闇・外遊び」で 健やかに！

「なんとなくだるい。テレビやゲームの時間を短くしたい。睡眠時間を増やしたいけど…。」早寝・早起き・朝ご飯に代表されるよい生活習慣はわかっているけど、なかなかできないのが現状ではないでしょうか。

岳洋学舎では、小・中が連携して「睡眠の大切さと学力向上」について学ぶ時間を設けました。10月10日(木)、子どものからだと心づくりで有名な日本体育大学の野井真吾先生を招き、午前は北小に3小学校の6年生全員が集い合同学校保健委員会をもちました。午後は、岳洋中全校生徒が「岳中生のための元気大作戦！」をテーマに学びました。

野井先生がすすめてくださったことが「朝の光・夜の暗闇・外遊び」の3つでした。朝日にあたると元気のもとであるホルモン(セロトニン)が増え、夜の暗さを感じた際には眠りを誘うホルモン(メラトニン)が増えて寝付きをよくし、心もからだも調子がよくなっていくということでした。

子どもたちの感想が各校ホームページで紹介されていました。「夕べは夜カーテンを開けて、1時間早く寝ました。」「話が楽しかったです」(岳中HP)「これから大切にしたいことは『運動・睡眠・日光を浴びる・気合』です。」(小笠東小HP)また、小笠北小や小笠南小のホームページにも「セロトニンやメラトニンの働き」「よい睡眠」「生活リズムを整えること」など、学舎3小学校の6年生全員が同じ内容を一緒に聴くことができて、大変有意義な時間を過ごしました。とありました。

子どもが自ら進んで生活リズムを整えたいという意欲を引き出す講演会になりました。かぎとなる「光・暗闇・外遊び」の取組を学舎全体に広げて、子どもたちの健やかな成長を見守っていきましょう。(文 大石)

野井真吾先生と学ぶ合同学校保健委員会



【学びの庭】第2回学校運営協議会開催

教師が教師の仕事に取り組めるように支援したい！

学校運営協議会が4校に分かれて実施されました。主な議題は「教育活動への支援」です。小笠南小の杉山校長からは「日々の忙しさを感じ、超過勤務の職員がたくさんいます。教育活動において、どんなものを残して、どんなものを減らしていくのかを考え続けています。効率的に進めていくとともに、魂の入った活動を進めていきたいです。」という話がありました。

以下は、学校現場の実態を知った委員（地域の皆様の代表）から出された主な意見です。

○様々な業務が学校に任せられ教員の多忙化の原因になっている。学校の置かれている苦しい現状を、自治会長会やコミュニティ協議会の場で直接訴え、地域でできる支援を求めていきたい。

○登下校の見守りやスクールガードの依頼は、地域ぐるみで対応していきたい。今後は協議会委員から地域にお願いしてみたい。

○宿題や言葉遣い、食習慣については、家庭が見届けをしたい。委員からは事情のある子どもに積極的に声掛けをしていきたい。

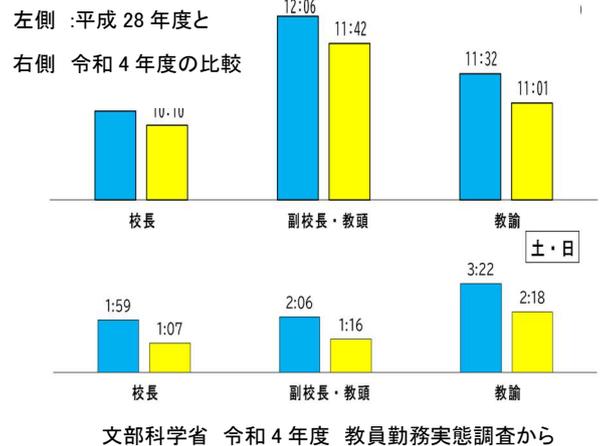
★右の図は、超過勤務が日常化している教員の実態を示したグラフ（小中とも平日・土日とも超過勤務時間が多い）

★下の表は、業務の考え方と役割分担を示した例

学校運営協議会 9/12 小笠南小



中学校教員の在校等時間



学校・教師が担う業務に係る3分類

教師を取り巻く環境改善は待たなしです！

平成 31 年 中央教育審議会答申 <文部科学省>

基本的には学校以外が担うべき業務	学校の業務だが、必ずしも教師が担う必要がない業務	教師の業務だが、負担軽減が可能な業務
①登下校に関する対応 ②放課後から夜間などにおける見回り、児童生徒が補導された時の対応 ③学校徴収金の徴収・管理 ④地域ボランティアとの連絡調整	⑤調査・統計等への回答等 ⑥児童生徒の休み時間における対応 ⑦校内清掃 ⑧部活動	⑨給食時の対応 ⑩授業準備 ⑪学習評価や成績処理 ⑫学校行事の準備・運営 ⑬進路指導 ⑭支援が必要な児童生徒・家庭への対応

